

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 2月 1日				
ハイタッチ！立川幸教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・利用者人数を適切に行っている。	・クールダウンのスペースがあると良い
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		・足りない日もあるが、チームワークでなんとかやっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			・バリアフリー化はしていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・出来るだけ危険を起こさない防止策として、部屋のスペースを体を動かす遊びとその他の遊びに分けて使用する。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・状況に応じてトイレや職員室を活用 ・職員室や面談室で対応している。 ・スペースが限られる中だが、着替えやパニックになった場合は、職員室と共有で一時的にクールダウン出来るようにしている。	・個別の部屋が当教室にはないので、そのような配慮が難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・利用者の日々の記録や支援目標等をアプリで共有出来るようにしている。	・理解しているスタッフもいれば、そうでないスタッフもいる為、まずは理解を深めることが課題
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・保護者会で保護者の意見を聞く機会を設けている。 ・保護者会を設けて、利用者や家族と職員とのコミュニケーションを取っている。面談も定期的に行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・毎日のミーティングでパートも自分の所見を発する機会があるので、風通しが良く感じる。 ・月に2回ミーティングを行っている。 ・職員ミーティング等を設けて、情報伝達を行ったり、意見を話せる場がある。管理者との面談もある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	・日常的に、体験の親子やモニタリングの事業所が来所する為、他者の高評価にも繋がる、子どもへの良い療育がなされている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・常にあり、スキルアップに繋がっている。 ・月に数回オンライン等研修がある。 ・研修対象の職員には、お知らせのあった時に参加を促している。個人的に管理者へ相談も受け付けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・アプリで全職員や保護者に公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・面談等、年2回行われている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・ミーティング等で共有している。 ・随時、子どもの普段の様子や気づいたこと等、意見を求められるなど、普段からコミュニケーションが密である。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・学校、保護者、事業所、本人等、必要な所へ連携を行い作成されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・月によって活動内容を変えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・個別活動という決まった時間や場所はないが、随時個別で静かな活動を見たり、運動時に対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・個別対応児や運動補助等、確認を行っている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・帰りの会等に意見を募っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・毎日その日の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・自由あそびの時間は大好きな遊びを選んだり、静かな時間の内容を2～3つから選んで行う。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・必要に応じて行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・その都度連携を取ったり、アプリで計画を共有する。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4	・必要があれば連絡している。 ・必要に応じて連携を取っている。	・情報共有がなかなか難しい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	・これまで該当児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・他市にある系列の教室（3教室）で一緒に行事をおこなっている。	・そのような機会がなかなか少ない、難しい。（通常業務もある為）
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		・参加出来ていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・引き渡しの際に共有している。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	・必要に応じて個別で対応している。 ・保護者のご要望に合わせて行っている。 ・帰りの送迎時等に当教室の様子や学校での様子を聞くように心掛けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・随時行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	8		・きょうだい同士はない。 ・兄弟同士で交流する機会はまだ取り組めていないが、今後ご要望があれば実施する予定 ・保護者会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・その都度職員内で共有し、対応策を取っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・SNSを通して普段の様子を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・年に2回の避難訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・保護者、本人と丁寧に連携を取っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・紙に記録し、共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1		